



2020年7月27日
一般社団法人 新時代戦略研究所
肝炎撲滅プロジェクト

【プレスリリース】

～肝炎で苦しむ患者さんのいない世界を目指して～ 一般社団法人 新時代戦略研究所 (INES) 「肝炎撲滅プロジェクト」を発足

7月28日の世界肝炎デーを機に、WHO 肝炎撲滅目標達成に向けて
日本の関係各所と連携し、4つの戦略的分野で活動を開始

一般社団法人 新時代戦略研究所 (INES: Institute for New Era Strategy、代表 朝井淳太)は、本日、「肝炎撲滅プロジェクト」を発足したことを発表しました。また、7月28日の世界肝炎デーを機に、肝炎撲滅を加速させる取組みを開始しましたのでお知らせします。

本プロジェクトは、企業・団体・大学関係者などと連携し、既存の戦略を強化し、撲滅を支援する革新的なアプローチを展開することにより、肝炎【B型肝炎ウイルス(HBV)・C型肝炎ウイルス(HCV)】の撲滅を促進します。具体的には、世界保健機関 (WHO: World Health Organization: WHO)肝炎撲滅目標の達成に向けた取組みを促進している日本を支援します。

我々は、次の4つの戦略的分野で活動を行っています。

- 政府、国民、産業界の「肝炎撲滅」への意識を高める
- 撲滅への取組みを支援するために、専門知識や情報の技術支援を提供する
- 撲滅を支援する、エビデンスに基づいた政策提言を策定するための調査を実施する
- 民間セクターに啓発活動やスクリーニングキャンペーンの実施を確約させる

本プロジェクト発足に向けて、活動に賛同する関係者からのコメントは以下の通りです。

「肝炎を撲滅する戦いの中で、大きく前進した日本に拍手を送ります。より多くの患者を治療し、彼らを含む国民の健康を守ることを最終目標にした肝炎撲滅プロジェクトを設立した日本は今、C型肝炎を撲滅できる状況です。日本は、地域のC型肝炎ウイルス(HCV)治療とともに年齢別C型肝炎検査を初めて導入した国として世界をリードしています。そしてC型肝炎の撲滅に向けた取組みを促進することで、引き続きリーダーシップを発揮していくことでしょう。また、Coalition for Global Hepatitis Eliminationのパートナーとして、日本の専門知識を共有し援助を行うことは、世界的なC型肝炎撲滅につながります。各国、そして地域と連携することで、世界はC型肝炎撲滅を実現できるでしょう。」

– ジョン・ウオード, M.D., Coalition for Global Hepatitis Elimination ディレクター
(元 CDC ウイルス性肝炎部門部長)

「ここ数年にわたるC型肝炎治療の進歩により、肝炎撲滅の達成が現実のものとなりました。革新的な直接作用型抗ウイルス治療は、C型肝炎のない未来を可能にします。C型肝炎患者を根治させる可能性のある今こそ、撲滅のための取組みを推し進める時です。これにより、新規症例数や肝がんをふくむ肝臓関連の死亡件数が、今後数年間で急速に減少することが予想されます。」

– 梅田一郎, 新時代戦略研究所 (INES) 理事長

「肝炎撲滅の実現は、単に健康上の恩恵を与えるだけではありません。肝炎とそれに関連する併存疾患は国の医療財政に大きな影響を与えており、撲滅によって将来の医療費を削減できます。経済にプラスの影響を及ぼす効果もあり、日本がC型肝炎患者のスクリーニングと治療を拡大し、撲滅への取組みを促進すれば、この投資

への大きな見返りが期待できます。」

- 小黒一正, 法政大学経済学部 教授

「現在、日本において、肝炎ウイルスに感染しているにもかかわらず、検診や診断への適切なアクセスを有せず、治療に至っていない潜在的患者さんがいらっしゃいます。アツヴィは、弊社が持つノウハウや経験を肝炎撲滅を目指す幅広いステークホルダーと共有し、その活動をさらに加速していくことが、弊社の企業責任であると考え肝炎撲滅プロジェクトに参画することといたしました。企業や業界の枠組みを越えて、また地方自治体、医療関係者の皆さまとも連携することで、世界にさきがけ、日本で一日も早い肝炎撲滅が実現できるよう貢献してまいります。」

- ジェームス・フェリシアーノ, アツヴィ合同会社 社長

「画期的な治療薬の登場により、国内の C 型肝炎患者数は減少傾向にあるものの、感染初期には症状が殆ど見られないことから、早期発見・治療のためには無症状キャリアを拾い上げるスクリーニングが重要です。ロシュ・ダイアグノスティックスは、国内で C 型肝炎患者が急増していた 90 年代に PCR 法での HCV 検査を開発し、以来 20 年以上、より正確でより適切な肝炎検査の提供に努めています。本プロジェクトへの参画により、弊社の持つソリューションとグローバルおよび日本国内で積み重ねた経験が、肝炎患者の適切な診断と治療、そして肝炎撲滅の実現に貢献できることを期待しています。」

- 小笠原 信, ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 代表取締役兼 CEO

【肝炎撲滅プロジェクトについて】

2020 年 7 月 28 日の世界肝炎デーに合わせて、「肝炎撲滅プロジェクト」を発足し、プロジェクトに関する情報、肝炎撲滅への取り組み、および進行中の調査・研究に関する情報を随時提供するウェブサイトを開発しました。本プロジェクト発足の動機や目的など詳細については、こちら(<https://stopkanen.net>)からご覧いただけます。

また、プロジェクト発足を記念するとともに、肝炎撲滅に向けたパートナーを集結させるため、2020 年秋にキックオフイベントを開催します。詳細は決まり次第ウェブサイト等でお知らせします。

なお、本プロジェクトは、アツヴィ合同会社とロシュ・ダイアグノスティックス株式会社の支援を受けています。

【ウイルス性肝炎について】

B 型肝炎と C 型肝炎は「サイレントキラー」として知られています。世界では、3 億 2,800 万人が B 型肝炎ウイルス(HBV)および C 型肝炎ウイルス(HCV)に感染しており、毎年数百万人もの新規感染が発生しています。日本では、HBV と HCV により毎年数千人が死亡しており、原発性肝がんによる死亡の主な原因となっています。信頼性の高い検査、効力の高い B 型肝炎ワクチン、効果的な B 型肝炎薬、および根治的 HCV 治療が利用できるようになり、2016 年、WHO は HBV および HCV の撲滅目標を制定し、2030 年までに発生率を 90%、死亡率を 65% 削減することを目指しています。

WHO によると、B 型肝炎と C 型肝炎の治療に必要な診断検査や医薬品に今投資することで、各国は人命を救い、未治療の肝炎に起因する肝硬変や肝がんの長期的治療によるコストを削減することができます。

●新時代戦略研究所(INES)

新時代戦略研究所(INES)は、自民党衆議院議員だった近藤鉄雄氏が、政界引退後の1997年に株式会社として設立しました。近藤氏は大蔵省出身で、国会議員として活動中は労働大臣や経済企画庁長官を歴任しました。経済、金融、政治、外交等の分野において、国際国内の緊急の問題についてその本質に迫る解明を試み政策提言するべく、民間の立場として研究を行い、朝食会の開催を中心に勉強の機会を設けてきました。

2018年7月からは、新時代戦略研究所は一般社団法人として活動してまいります。これからも多くの皆様が集まる場を提供し、21世紀の日本が直面する課題について議論を深めることを目的に活動します。

➤ 新時代戦略研究所(INES)ホームページ <http://inesjapan.com/>

➤ 新時代戦略研究所(INES)Facebook <https://ja-jp.facebook.com/pages/biz/.../新時代戦略研究-INES-187965741221191/>

【本件に関するお問い合わせ】

新時代戦略研究所(INES) 広報事務局
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118 FAX:03-3291-0223

E-mail: ines@jc-inc.co.jp

〒101-0065 東京都千代田区西神田 1-3-6 ウエタケビル 4F